

(7) 推薦入試

① 募集人員・出願要件等

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
人文学部 人文学科	30人	<p>高等学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者（(注)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 人物・学業ともに優れ、本学部での学習に意欲のある者 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(注) ① 特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年12月8日(土)</p> <p>合格者発表 平成31年2月12日(火)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p>
教育学部 学校教員養成課程 専修ごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。 学校教育コース 学校教育学専修 教育心理学専修 特別支援教育専修 教科教育コース 国語教育専修 社会科教育専修 英語教育専修 数学教育専修 理科教育専修 家庭科教育専修 技術科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修	40人 4人 4人 3人 4人 5人 3人 5人 4人 1人 2人 1人 1人 3人	<p>平成31年3月高等学校卒業見込みの者（(注1)の①、②、③及び④を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 学業・人物ともに優れ、義務教育諸学校の教員（学校教育コースの学校教育学専修、教育心理学専修においては小学校教員）になる強い意志と情熱をもつ者 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(注1) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき3人以内とします。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月24日(土)</p> <p>合格者発表 平成31年2月12日(火)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p>
法学部 法学科	50人	<p>高等学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者（(注)の①、②及び③を含む。）で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 募集要項に掲載の「新潟大学法学部の推薦入試を受験しようとする〈君〉へ」及び法学部法学科の教育理念をよく理解し、将来、国際社会及び地域社会に貢献したいという意欲を持つ者であって、潜在的・顕在的に、現代社会の諸問題を公正かつ論理的に解決できる能力を有し、国際化・情報化に対応するコミュニケーション能力及び総合的な視野に立った政策提案能力を有していると認められるもの 学習成績概評がB以上で、本学部での勉学に熱意を持つ者 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(注) ① 特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月17日(土)、 11月18日(日) (いずれかの1日)</p> <p>合格者発表 平成30年12月19日(水)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
経済学部 (昼間コース) 経済学科 経営学科	23ページの (*1) 参照	平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注1)の①, ②, ③及び④を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が責任をもって推薦するもの 1 学業・人物とも優れ, 経済学科……経済学の勉学に意欲のある者 経営学科……経営学の勉学に意欲のある者 2 学習成績概評がAの者 3 合格した場合は, 入学することを確約できる者 (注1) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は, 経済学科及び経営学科を合わせて1校につき2人以内とします。	出願期間 平成30年11月1日(木) ~11月5日(月) (必着) 選抜期日 平成30年11月17日(土) 合格者発表 平成30年12月14日(金) 募集要項の発表 平成30年7月下旬 請求方法は, 33ページを参照してください。
理学部 理学科 プログラムごとの概ねの募集人員は以下のとおりです。 数学プログラム 物理学プログラム 化学プログラム 生物学プログラム 地質科学プログラム 自然環境科学プログラム	7人 7人 5人 5人 5人 6人	平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注)の①, ②, ③及び④を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するもの 1 学業・人物とも優れ, 左記の各主専攻プログラムでの学習意欲のある者 2 合格した場合は, 入学することを確約できる者 (注) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者 ※受験者多数の場合は, 11月24日(土)にも試験を実施することがあります。	出願期間 平成30年11月1日(木) ~11月5日(月) (必着) 選抜期日 平成30年11月23日 (金・祝), 11月24日(土)※ 合格者発表 平成30年12月7日(金) 募集要項の発表 平成30年7月下旬 請求方法は, 33ページを参照してください。
医学部 医学科	37人 (地域枠A5人及び地域枠B12人を含む)	【一般枠】 平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注1)の①及び②を含む。)で, 次の各号に該当し, 当該学校長が特に優れていると認め, 責任をもって推薦するもの 1 学習成績概評がA又はAで, 人物も優れ, 将来医学の分野で活躍が期待される者 2 合格した場合は, 入学することを確約できる者 (注1) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者 (注2) 当該学校長が推薦できる人員は, 1校につき10人以内とします。 (注3) 新潟県内の高等学校出身者で, 新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者は, 本学医学部医学科推薦入試【地域枠】との併願ができます。	出願期間 平成30年11月1日(木) ~11月5日(月) 選抜期日 平成30年11月30日(金) 合格者発表 平成31年2月12日(火) 募集要項の発表 平成30年7月下旬 請求方法は, 33ページを参照してください。

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
		<p>【地域枠】 (地域枠には「地域枠 A」と「地域枠 B」があります。) (地域枠 A) 新潟県内の高等学校を平成27年4月から平成30年3月までに卒業した者(以下「既卒者」という。)及び、平成31年3月卒業見込みの者(平成30年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込み者」という。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習成績概評が㉔又はAで、人物も優れ、新潟県内で将来の医療を担うという強い意志を有する者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(地域枠 B) 地域枠 A の出願要件に加え、新潟県が設定する修学資金を受給するとともに、医師免許取得後、直ちに、新潟大学医歯学総合病院又はそれ以外の県内臨床研修病院で卒後臨床研修に従事し、引き続き新潟県が指定した医療機関に勤務(卒後臨床研修を含み9年間)することを確約できる者</p> <p>(注1) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき15人以内とします。</p> <p>(内訳) 卒業見込み者：一般枠を含め10人以内 既卒者：5人以内</p> <p>(注2) 地域枠 A と地域枠 B は併願ができます。</p>	<p>【一般枠】と【地域枠】 を併願した者は【一般枠】を優先して選抜し、【一般枠】で合格とならなかった場合、【地域枠】として選抜の対象になります。</p> <p>ただし、一般枠と地域枠を併願する場合、または、地域枠 A と B を併願する場合、希望する者は「地域枠 B」を優先して選抜します。</p> <p>新潟県では将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、奨学金を貸与し、修学支援を行っています。特に地域枠 B の入学者に対しては、医師養成修学資金貸与制度「重点コース(新潟大学医学部「地域枠 B」入学生枠)」を設け、修学支援を行っています。</p> <p>学習成績概評 A に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㉔標示を希望します。</p>
<p>医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻</p>	<p>20人 10人 12人</p>	<p>平成31年3月高等学校を卒業見込みの者((注1)の①、②、③及び④を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの</p> <p>合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>[看護学専攻]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護学の学習に熱意のある者 2 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 <p>[放射線技術科学専攻]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 放射線技術科学の学習に熱意のある者 2 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 <p>[検査技術科学専攻]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 検査技術科学の学習に熱意のある者 2 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 <p>(注1) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月30日(金)</p> <p>合格者発表 平成30年12月20日(木)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
		<p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員 普通科(理数科等を含む。)においては、看護学専攻は、1校につき2人以内、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻についてはそれぞれ1校につき1人とします。 職業教育を主とする学科及び総合学科においては、各専攻とも1校につき2人以内とします。 ただし、看護学専攻においては、准看護師の受験資格を得ることができる学科の場合は、さらに当該学科から1人推薦できるものとします。</p>	
歯学部 歯学科	10人	<p>平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注1)の①、②、③及び④を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習成績概評がA又はAで、人物も優れ、歯学の学習に熱意のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(注1) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき2人以内とします。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年12月1日(土)</p> <p>合格者発表 平成31年2月12日(火)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p> <p>学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄にA標示を希望します。</p>
歯学部 口腔生命福祉学科	5人	<p>平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注1)の①、②、③及び④を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学業・人物ともに優れ、口腔保健学及び社会福祉学の学習に熱意と明確な目的意識を有する者 2 調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者 3 合格した場合は、入学することを確約できる者 <p>(注1) ① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者</p> <p>(注2) 当該学校長が推薦できる人員は、1校につき3人以内とします。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年12月1日(土)</p> <p>合格者発表 平成31年2月12日(火)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	備 考
工学部 工学科 機械システム工学プログラム 社会基盤工学プログラム 電子情報通信プログラム 知能情報システムプログラム 化学システム工学プログラム 材料科学プログラム 建築学プログラム 人間支援感性科学プログラム 協創経営プログラム	23ページの (*2) 参照	平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注)の①, ②, ③及び④を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が責任をもって推薦するもの 1 人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注)① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者 工学部推薦入試は、主専攻プログラムごとに行います。また、入試方法によって(A), (B), (C)に分かれており、それぞれの出願要件が異なります。23~24ページを参照してください。	出願期間 平成30年11月1日(木) ~11月5日(月) (必着) 選抜期日 平成30年11月24日(土), 11月25日(日) (いずれかの1日) 合格者発表 推薦入試(A)・(C) 平成30年12月7日(金) 推薦入試(B) 平成31年2月12日(火) 募集要項の発表 平成30年7月下旬 請求方法は、33ページを参照してください。
農学部 農学科 応用生命科学プログラム 食品科学プログラム 生物資源科学プログラム 流域環境学プログラム	24ページの (*3) 参照	平成31年3月高等学校卒業見込みの者((注)①, ②, ③及び④を含む。)及び農業に関する学科、工業に関する学科、水産に関する学科、家庭に関する学科及び総合学科のいずれかを平成28年度以降に卒業した者で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの 1 学業・人物ともに優れ、農学の学習に意欲のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注)① 平成30年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 平成30年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ③ 平成30年度中に高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成30年度中に修了した者及び修了見込みの者	出願期間 平成30年11月1日(木) ~11月5日(月) (必着) 選抜期日 平成30年11月23日 (金・祝) 合格者発表 平成30年12月6日(木) 募集要項の発表 平成30年7月下旬 請求方法は、33ページを参照してください。
創生学部 創生学修課程	10人	高等学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者((注)の①, ②及び③を含む。)で、次の各号に該当し、当該学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦するもの 1 人物・学業ともに優れ、本学部での学習に意欲のある者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注)① 特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者 ② 高等専門学校の第3年次を修了した者及び修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を修了した者及び修了見込みの者	出願期間 平成30年11月1日(木) ~11月5日(月) (必着) 選抜期日 平成30年11月23日 (金・祝) 合格者発表 平成31年2月12日(火) 募集要項の発表 平成30年7月下旬 請求方法は、33ページを参照してください。

* 1 経済学部推薦入試の対象となる高等学校の範囲等と募集人員は、次表のとおりです。

学 科	推薦入試の対象となる者	募集人員
経 済 学 科	(範囲の指定なし)	20人
経 営 学 科	商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	10人
	上記以外の者	10人

* 2 工学部推薦入試（A）、（B）、（C）の対象となる者（出願要件）と募集人員は、次表のとおりです。

学科	入試種別	主専攻プログラム	推薦入試の対象となる者（出願要件）	募集人員
工 学 科	推薦入試 （A）	機械システム工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	3人
		社会基盤工学プログラム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	2人
		電子情報通信プログラム	工業及び情報に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	4人
		知能情報システムプログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	3人
		化学システム工学プログラム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	2人
		材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム	工業、農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	2人
		建 築 学 プ ロ グ ラ ム	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	2人
		人間支援感性科学プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	2人
		協創経営プログラム	工業、情報及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕	2人
	推薦入試 （B）	機械システム工学プログラム	推薦入試（A）の出願要件に該当しない者	15人
		社会基盤工学プログラム		4人
		電子情報通信プログラム		11人
		知能情報システムプログラム		12人
		化学システム工学プログラム		10人
		材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム		6人
		建 築 学 プ ロ グ ラ ム		3人
		人間支援感性科学プログラム		5人
		協創経営プログラム		10人
	推薦入試 （C）	機械システム工学プログラム	下記の出願要件①、出願要件②又は出願要件③に該当する者。 いずれの出願要件においても、当該出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。 出願要件① SSHカリキュラムを受講した者で、下記のいずれかもしくは両方を満たした者 ・SSHの指定を受けている高等学校又は中等教育学校において研究又は実験を行ったことのある者 ・大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究又は実験を行ったことのある者 出願要件② 科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者（科学系コンテストの内容は次表を参照） 人間支援感性科学プログラムでは、加えて、優れた能力をもつ者も可とする。 （優れた能力の内容については次表を参照） 出願要件③ 高等学校等の内外において主体的に活動（課題研究、総合学習、課外活動、コンテスト、コンクール等）を行った者	若干人
		社会基盤工学プログラム		若干人
		電子情報通信プログラム		若干人
		知能情報システムプログラム		若干人
		化学システム工学プログラム		若干人
		材 料 科 学 プ ロ グ ラ ム		若干人
		建 築 学 プ ロ グ ラ ム		若干人
		人間支援感性科学プログラム		12人
		協創経営プログラム		若干人

推薦入試 (C) の科学系コンテスト及び優れた能力の内容は次表のとおりです。

学科	主専攻プログラム	出願要件の一つとなる具体的な科学系コンテスト名と認定基準及び人間支援感性科学プログラムにおける優れた能力の内容 (過去3年間に以下の基準を満たした者)
工 学 科	機械システム工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	社会基盤工学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
		日本生物学オリンピック予選通過者
		日本地学オリンピック予選通過者
	科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者	
	電子情報通信プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
	知能情報システムプログラム	日本情報オリンピック本選Aランク通過者
	化学システム工学プログラム	化学グランプリ二次選考入賞者
	材料科学プログラム	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
	建築学プログラム	日本数学オリンピック予選Aランク者
		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
		化学グランプリ一次選考通過者
		日本情報オリンピック予選通過者
	人間支援感性科学プログラム	日本情報オリンピック予選通過者
		優れた造形芸術の能力をもつ者
		優れた音楽の演奏能力又は作曲能力をもつ者
	協創経営プログラム	優れたスポーツの技能を有する者
日本数学オリンピック予選Aランク者		
全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者		
化学グランプリ一次選考通過者		
日本情報オリンピック予選通過者		
日本生物学オリンピック予選通過者		
日本地学オリンピック予選通過者		
科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者		

* 3 農学部推薦入試の対象となる高等学校の範囲等と募集人員は、次表のとおりです。推薦入試では、フィールド科学人材育成プログラムの募集は行いません。

学科	主専攻プログラム	推薦入試の対象となる高等学校の範囲	募集人員
農学科	応用生命科学プログラム	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	5人
		農業・工業・水産及び家庭に関する学科並びに総合学科 (注1, 2)	2人
	食品科学プログラム	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	4人
		農業・水産及び家庭に関する学科並びに総合学科 (注1, 3)	2人
	生物資源科学プログラム	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	6人
		農業に関する学科及び総合学科 (注4)	5人
流域環境学プログラム	高等学校の普通科等 (下記以外の学科)	6人	
	農業及び工業に関する学科並びに総合学科 (注5)	4人	

- (注1) 家庭に関する学科は、食物に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。
(注2) 総合学科は、農業、工業、水産又は食物に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。
(注3) 総合学科は、農業、水産又は食物に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。
(注4) 総合学科は、農業に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。
(注5) 総合学科は、農業及び工業に関する教科・科目を20単位以上修得 (見込みを含む。) した者を対象とします。

② 選抜方法

各学部の入学者の選抜は、「平成31年度大学入試センター試験」(学部によっては免除されます)、「本学が実施する試験等」及び「出願書類」を総合して行います。試験科目及び配点等は以下のとおりです。

学部・学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		試験の区分	大学入試センター試験							本学が実施する試験等				配点 合計
	教科	科目名等		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	基礎学 力試験	面接	書類 審査	
人文学部 人文学科	外国 数 地歴・公民	国語・必須 英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ、 簿・会、情報から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経から1 〔3教科3科目〕	センター 試験 本学が実施 する試験等	150	(100)	(100)	(100)	150	150			200 書類審 査含む	○	400	
教育学部 学校教員養成課程 学校教育コース 学校教育専修 教育心理学専修 特別支援教育専修 教科教育コース 国語教育専修 社会科教育専修 英語教育専修 数学教育専修 理科教育専修 家庭科教育専修 技術科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修	外国 数 理 地歴・公民	国語・必須 英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ、 簿・会、情報から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経から1 〔3教科3科目〕	センター 試験 本学が実施 する試験等	150	(75) (75)	(75) (75)	(75) (75)	150	150			120	30	675	
法学部 法学科		国語・必須 英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ、 簿・会、情報から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経から1 〔3教科3科目〕	センター 試験 本学が実施 する試験等	150	(150)	(150)	(150)	150	150			120	30	825	
経済学部 全学科		国語・必須 英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ、 簿・会、情報から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経から1 〔3教科3科目〕	センター 試験 本学が実施 する試験等									100 書類審 査含む	○	100	
			センター 試験 本学が実施 する試験等							200				250	

(注) ○印は、当該試験等を課すことを示します。

学部・学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験						本学が実施する試験等				配点 合計	
	教科	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	基礎学 力試験	面接		書類 審査
理学部 理学科	数学プログラム	センター試験は課さない									200	120	80	400
	物理学プログラム	センター試験は課さない								240	80		400	
	化学プログラム	センター試験は課さない							150		150	100	400	
	生物学プログラム 自然環境科学プログラム	センター試験は課さない							200		100	100	400	
	地質科学プログラム	センター試験は課さない							200		120	80	400	
医学部	医学科	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物, 化, 生から2 英, 独, 仏から1 世B, 日B, 地理B, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	100	(50)	(50)	100	200	100						550
	保健学科 看護学専攻	センター試験は課さない	100	(50)	(50)	100	200	100						550
保健学科 放射線技術科学専攻	保健学科	センター試験は課さない							100		100			200
	放射線技術科学専攻	センター試験は課さない							60		90			150
歯学部	歯学部	センター試験は課さない							100		100			200
	検査技術科学専攻	センター試験は課さない												200
歯学部	歯学部	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物, 化, 生から2 英, 独, 仏から1 世B, 日B, 地理B, 倫, 政経, 倫・政経から1 〔5教科7科目〕	200	(100)	(100)	200	300	200						1000
	検査技術科学専攻	センター試験は課さない							250		250			500
			200	(100)	(100)	200	300	200						1500

(注) ○印は、当該試験等を課することを示します。
※ 医学部(医学科)では、面接の結果を段階評価し、総合して判定します。

学部・学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		試験の区分	大学入試センター試験						本学が実施する試験等				配点 合計	
	教科	科目名等		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	基礎学 力試験	面接		書類 審査
歯学部 口腔生命福祉学科	国 数 外 理	国語 必須 教Ⅰ・教A、必須 英、独、仏から1 教Ⅱ・教B 〔「物基、化基、生基から2」又は 「物、化、生から1」〕 から3 もしくは ①「物基、化基、生基から2及び 物、化、生から1」 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経から1又は2 注1) 「理科」から最低1科目(基礎科目は 2科目)及び「地歴又は公民」から最 低1科目を選択すること 注2) 公民においては、「倫・政経」の選択は できない。 注3) ②の選択方法においては、同一名称を 含む科目同士は選択は認めない。 注4) 「又は4」は、理科において「物基、化基、 生基」を含む科目を選択した場合のみ。 〔5教科6科目もしくは7科目〕又は 〔6教科6科目もしくは7科目〕	小論文 面接 書類審査	200	(100) (100)	(100) (100)	100 (100)	100 (100)	200					800	
			本学が実施 する試験等				200						200	○	400
工学部 工学科	全主専攻プログ ラム 推薦入試 (A) 推薦入試 (B) 推薦入試 (C)	センター試験は課さない	面接(口頭試験を含む) 書類審査											200	
		国語 必須 教Ⅰ・教A、教Ⅱ・教B、簿・会、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科3科目〕	面接 書類審査	100		200	200	200	200				140	60	500
		センター試験は課さない	面接(口頭試験を含む) 書類審査	100		200	200	200	200				140	60	700
農学部 農学科	全主専攻プログ ラム 推薦入試 (C)	センター試験は課さない	小論文 面接 書類審査											200	
		国語 必須 数Ⅰ・数A、数Ⅱ、教Ⅱ、教Ⅲ・教B、 簿・会、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科3科目〕	面接 書類審査	200		200	200	200	200				30	20	600
創生学部 創生学修課程	国 数 外	センター試験は課さない	小論文 面接 書類審査											300	
		国語 必須 数Ⅰ・数A、数Ⅱ、教Ⅱ、教Ⅲ・教B、 簿・会、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科3科目〕	面接 書類審査	200		200	200	200	200				300 書類審 査含む	○	900
		計		200	(200)	(200)	100 (100)	100 (100)	200			200	○	1200	
		計		200	(200)	(200)	100 (100)	100 (100)	200			200	○	900	

(注) ○印は、当該試験等を課することを示します。

(8) 帰国子女特別入試

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
人文学部 教育学部 法学部 経済学部 (昼間コース) 理学部 医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学 専攻 検査技術科学専 攻 歯学部 歯学科 工学部 農学部	若干人 若干人 若干人 若干人 若干人 1人 1人 1人 若干人 若干人 若干人	日本国籍を有する者又は日本 国の永住許可を得ている者で、 保護者の海外勤務等の事情によ り次のいずれかに該当するもの とします。この場合、転勤等によ り、保護者が先に帰国した場合 も認めます。ただし、法学部 は、保護者の海外勤務等の事情 を問いません。 1 外国において、学校教育に おける12年の課程(日本にお ける通常の課程による学校教 育の期間を含む。)を平成29 年(2017年)4月1日から平 成31年(2019年)3月31日ま でに卒業(修了)又は卒業(修 了)見込みの者及びこれに準 ずる者で文部科学大臣の指定 したもの ただし、卒業(修了)時 において最終学年を含め、継続 して2年以上外国の学校教育 (文部科学大臣が高等学校の 課程と同等の課程又は相当す る課程を有するものとして認 定又は指定した在外教育施設 の当該課程を除く。)を受け ていること 2 外国において、スイス民法 典に基づく財団法人である国 際バカロレア事務局から国 際バカロレア資格証書を平成 29年(2017年)又は平成30年 (2018年)に授与された者 で、平成31年(2019年)3月 31日までに18歳に達するもの 3 外国において、ドイツ連邦 共和国の各州で大学入学資格 として認められているアビ トゥア資格を平成29年(2017 年)又は平成30年(2018年) に授与された者で、平成31年 (2019年)3月31日までに18 歳に達するもの 4 外国において、フランス共 和国で大学入学資格として認 められているバカロレア資格 を平成29年(2017年)又は平 成30年(2018年)に授与され た者で、平成31年(2019年) 3月31日までに18歳に達する もの 5 外国において、グレート・ ブリテン及び北部アイルラン ド連合王国で大学入学資格と して認められているジェネラ ル・サーティフィケート・オ フ・エデュケーション・ア ドバンスト・レベル資格 (GCEA レベル資格)を平 成29年(2017年)又は平成30 年(2018年)に取得した者で、 平成31年(2019年)3月31日 までに18歳に達するもの 6 外国において、国際的な評 価団体(WASC, ACSI, CIS) から教育活動等に係る認定を 受けた教育施設に置かれる12 年の課程を平成29年(2017年) 4月1日から平成31年(2019 年)3月31日までに修了した 者又は修了見込みの者で、平 成31年(2019年)3月31日ま でに18歳に達するもの	大学入試センター試験を免除し、 次の試験を行います。 ○人文学部 1 小論文(日本語による。) 2 面接 ○教育学部 学校教員養成課程(学校教育コース) …一般入試(前期日程)と同一の学力 検査(6ページ)を課します。 学校教員養成課程(教科教育コース 音楽教育専修, 美術教育専修, 保 健体育専修) …一般入試(前期日程)と同一の実 技検査(15~16ページ)を課し ます。 学校教員養成課程(教科教育コース の上記以外の専修) …一般入試(前期日程)と同一の 学力検査(6~8ページ)を課 します。 ○法学部 1 小論文(日本語による。) 2 面接 ○経済学部(昼間コース) 1 小論文(日本語による。) 2 面接(日本語による。) ○理学部 1 学力検査[一般入試(前期日程) と同一の学力検査(10ページ)を 課します。] 2 面接(日本語による。) ○医学部(保健学科) 1 小論文(日本語による。) 2 面接(日本語による。) ○歯学部(歯学科) 1 学力検査[一般入試(前期日程) と同一の学力検査(12ページ)を 課します。] 2 小論文(日本語による。) 3 面接(日本語による。) ○工学部 1 学力検査[一般入試(前期日程) と同一の学力検査(13ページ)を 課します。] 2 面接(日本語による。) ○農学部 1 学力検査[一般入試(前期日程) と同一の学力検査(13ページ)を 課します。] 2 面接(日本語による。) 入学者選抜の判定は、当該試験結 果及び出願書類を総合して行います。 一般入試(前期日程)と同一の学 力検査を課す場合でも、一般入試と は別の基準により判定します。	出願期間 平成31年1月28日(月) ~2月6日(水) (必着) 選抜期日 (理学部・歯学部・ 工学部・農学部) 平成31年2月25日(月), 2月26日(火) (人文学部・経済学部・ 医学部) 平成31年2月25日(月) (教育学部) 平成31年2月25日(月), 2月26日(火) (選択科目等により、 選抜期日が異なりま す。) (法学部) 平成31年2月26日(火) 合格者発表 平成31年3月8日(金) 募集要項の発表 平成30年11月下旬 請求方法は、33ページ を参照してください。 なお、出願資格の確認 を行いますので、36ペー ジを参照のうえ、手続を 行ってください。 入学後の履修について は、特別の措置は行いま せん。

(9) 帰国子女特別入試（平成31年10月入学）

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
人文学部 法学部 経済学部 （昼間コース） 農学部	若干人 若干人 若干人 若干人	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により次のいずれかに該当するものとします。この場合、転勤等により、保護者が先に帰国した場合も認めます。ただし、法学部は、保護者の海外勤務等の事情を問いません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成31年（2019年）4月1日から同年9月30日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者及びこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ただし、卒業（修了）時において最終学年を含め、継続して2年以上外国の学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を除く。）を受けていること 2 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成31年（2019年）4月1日から同年9月30日までに授与された者又は授与される見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 3 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成31年（2019年）4月1日から同年9月30日までに授与された者又は授与される見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 4 外国において、フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成31年（2019年）4月1日から同年9月30日までに授与された者又は授与される見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 5 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を平成31年（2019年）4月1日から同年9月30日までに取得した者又は取得見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 6 外国において、国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成31年（2019年）4月1日から同年9月30日までに修了した者又は修了見込みの者で、平成31年（2019年）9月30日までに18歳に達するもの 	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験を行います。</p> <p>○人文学部 1 小論文（日本語による。） 2 面接</p> <p>○法学部 1 小論文（日本語による。） 2 面接</p> <p>○経済学部（昼間コース） 1 小論文（日本語による。） 2 面接（日本語による。）</p> <p>○農学部 1 小論文（日本語による。） 2 口述試験（日本語による。）</p> <p>入学者選抜の判定は、当該試験結果及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間、選抜期日、合格者発表その他詳細は、平成31年6月頃発表予定の募集要項を参照してください。</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。 なお、出願資格の確認を行いますので、36ページを参照のうえ、手続を行ってください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>

(10) 社会人特別入試

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
人文学部 人文学科	若干人	<p>平成31年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） 	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力検査 外国語（英語） 2 小論文 3 面接 <p>入学者選抜の判定は、当該試験結果及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 平成30年9月18日(火) ～9月20日(木) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年10月27日(土)</p> <p>合格者発表 平成30年11月14日(水)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>
経済学部 (昼間コース) 経済学科 経営学科	若干人 若干人	<p>平成31年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） 	<p>大学入試センター試験を免除し、小論文及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月17日(土)</p> <p>合格者発表 平成30年12月14日(金)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
経済学部 (夜間主コース) 経済学科 経営学科	25人 15人	<p>「大学入学資格を有する者」で、次のA～Cのいずれかに該当するもの</p> <p>A 平成31年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者</p> <p>この場合、定職をもち、定時制・通信制の高等学校に在学した期間は、社会人の経験期間に含めます。</p> <p>B 就職が内定している者及び現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者</p> <p>C 就業の意志があり、入学後、就業しながら勉学することを確約できる者</p> <p>「大学入学資格を有する者」とは次のいずれかに該当する者をいいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者(平成31年3月卒業見込みの者を含む。) 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(平成31年3月修了見込みの者を含む。) 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の(1)から(5)のいずれかに該当する者(平成31年3月31日までにこれらに該当する見込みの者を含む。) <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、小論文及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月17日(土)</p> <p>合格者発表 平成30年12月14日(金)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>

学部・学科	募集人員	出 願 要 件	選 抜 方 法	備 考
医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	2人 1人 1人	<p>平成31年4月1日現在において23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校を卒業した者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (4) 文部科学大臣の指定した者 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。） 	<p>大学入試センター試験を免除し、小論文、面接及び出願書類を総合して行います。</p>	<p>出願期間 平成30年11月1日(木) ～11月5日(月) (必着)</p> <p>選抜期日 平成30年11月30日(金)</p> <p>合格者発表 平成30年12月20日(木)</p> <p>募集要項の発表 平成30年7月下旬</p> <p>請求方法は、33ページを参照してください。</p> <p>入学後の履修については、特別の措置は行いません。</p>